

開会挨拶

日頃はTKC活動にご協力いただきましてありがとうございます。本日は、TKC中国会の三木武裕先生から、FX4クラウド導入による業績管理と経営助言、事務所収益向上について、TKC近畿京滋会の大江孝明先生から、書面添付実践について、税理士業務の完璧な履行、事務所経営そのものの話しをしていただきます。ぜひ、参考にいただければ幸いです。

TKC近畿京滋会
会長 佐藤正行先生

研修① 「なぜ、三木会計事務所は FX4クラウドを導入し続けるのか」



講師：TKC中国会
三木武裕先生

関与先162件中32件（関与先の20%）がFX4クラウド導入済み！

一旦、ここで、書面添付の話…

書面添付することで意見聴取のみで終わっています。また、税務調査官にはシステム担当の調査官がいます。会計システムについて問われる⇒FX4と答える⇒電子帳簿について問われる⇒電子帳簿対応で訂正加除履歴も各IDからアクセスしたログまで残ることも答える⇒…何も言われず調査終了…。

ここでFX4クラウドの話に戻します…

FX4クラウドの価格について問われる⇒高いと答えます。FX2と比べれば高いです。

ただ、ある会社の社長から、月額コストが毎月51,500円かかることを伝えると、

年額600,000円程度なら安い！と言われました。⇒関与先の能力を限定していませんか？

複数PCから入力できる、遠隔拠点からも、好きな時に好きな場所で入力も確認もできる。科目体系や科目数に悩まなくて済む。開いたら必ず最新！私自身がクラウドユーザとして感じた感想です。

不作為、不言行の言い訳の材料は無数に存在する！⇒「導入の可能性がゼロ」でない関与先には紹介しなければ！IT導入補助金の対象にもなっています。FX4クラウド導入⇒「生産性向上」＝「利益が増える」と国が保証しています！

FX4クラウド導入における、第1の壁：価格が高い、第2の壁：経理担当者

確かにそれもあるでしょう？しかし、**最大の壁は「この関与先、この人には提案できないという自己限定から生ずる、FX4クラウドそのものに対する不知」**なのではないでしょうか？自利利他、という考え方からFX4クラウド導入を定義づけるとお客様がFX4クラウドを導入⇒幸せになっていただく⇒会計人も幸せになり、TKCも幸せになる、という考え方のかな、と思います。

研修② 書面添付の標準業務化が事務所発展のカギ！

～ “関与先との確固たる信頼関係” と “社員のやりがい” を構築～

～ 書面添付の保証業務を会計事務所のブランディング戦略へ～

平成10年に開業、TKCに入会し、2度の転機がありました。関与先数約460件中、書面添付は現在151社で、発展途上ではありますが、現在、書面添付に対して重要に感じていることをお伝えできればと思います。

【勤務税理士時代】

記帳代行中心で、パソコン会計ソフトで自分なりにこなしていたので、税務調査が怖かった。

【書面添付を始めたきっかけ】

①TKC会員の先輩（汐瀬先生、寺本先生）からの個別指導、五十棲税理士との出会い

②TKCシステム・月次巡回監査・書面添付への移行

③書面添付導入時の効果⇒月次巡回監査実践による業務品質は格段に向上、職員の成長、不満の解消

書面添付（税と会計の保証業務）で、お客様への高付加価値サービスが変わる

【書面添付“標準業務化”の効果】

①月次巡回監査体制・初期指導のレベル向上に繋がります。

②意見聴取の積極的な意見交換で“調査省略”の増加

③“書面添付実践事務所”＝“調査のない会計事務所”事務所の“ブランディング戦略”へ



講師：TKC近畿京滋会
大江孝明先生